

千代田区における公園の活動実態調査

著者名(日)	藤本 麻紀子
雑誌名	共立女子大学家政学部紀要
巻	62
ページ	145-151
発行年	2016-01
URL	http://id.nii.ac.jp/1087/00003073/



千代田区における公園の活動実態調査

Activity Survey of park in Chiyoda

藤本麻紀子

Makiko FUJIMOTO

1. 目的

東京都千代田区は、2014 年都内生活実態アンケート^{※1}で、子育て満足度が一位となるなど、自治体の子育てサポート、保育園の充実、教育環境、地域の安全面などで高評価を得ている。しかし、千代田区周辺で、実際に児童の姿を目にする事は少ない。経済の中心地である千代田区における児童は、どのような環境で過ごし、活動を行っているのか。都心の中でも千代田区の子供の公園・児童遊園の過ごし方に焦点を当て調査を行った。

2. 研究方法

2-1. 調査対象地域

千代田区における公園は区内に 72 ヶ所設置され、皇居北の丸公園等の広域な園を除くと、区の北西から北東にかけて集中している。そこで、その立地が集中しているエリアにおける 49 箇所の公園、児童遊園で敷地調査、利用者に対してのヒアリング調査を行い、公園の活用の実態を把握する。また、千代田区との比較分析を行う為、住宅地の多い世田谷区の一部地域においても同様に敷地調査、インタビュー調査

を実施する。なお本研究では公園、児童遊園全てを公園と表記する。

3. 千代田区の調査結果

3-1. 調査方法

①敷地調査

調査範囲：千代田区内の公園 49 箇所（表 1）

調査期間：2014 年 8 月 7 日～9 月 29 日、午後 12 時～午後 17 時

調査内容：時間、温度、湿度、利用者数、主な利用者、利用者の行動、公園内の設備環境（出入口・遊具の数、園路・広場・ベンチ・東屋・トイレ・くず入れ・灰皿および喫煙所・時計・照明塔・花壇・池および流れ等の水辺の有無）喫煙者の有無

②ヒアリング調査

敷地調査と並行し、公園の利用者や周辺住民に実施。

調査内容：公園の利用理由、利用者の特徴、子供の為の施設に関する要望（子を持つ母親対象）

表 1 千代田区敷地調査結果 利用者数及び園内設備一覧

公園名	利用者数(人)			出入口	園路	広場	ベンチ	東屋	遊具	トイレ	水飲み	くず入れ	時計	照明灯	花壇	池・流れ	屋口・喫煙所	喫煙者	利用者人数		
	大人	子供	合計																大人	子供	合計
常盤橋公園	3	0	3	広	有	有	有	無	0	無	無	無	無	有	有	無	無	有	3	0	3
常盤橋小公園	2	0	2	広	無	有	有	有	0	有	有	無	無	無	有	無	無	有	2	0	2
神保町安全公園	13	0	13	2	無	有	有	無	0	有	無	有	有	有	有	無	有	有	13	0	13
西神田公園	18	0	18	3	無	有	有	無	11	有	有	無	無	有	有	有	無	有	18	0	18
小川町広場	5	4	9	2	無	有	有	無	0	有	無	無	無	有	有	無	無	有	5	4	9
淡路公園	47	0	47	広	有	有	有	有	0	無	無	無	有	有	有	有	無	有	47	0	47
錦華公園	8	0	8	3	有	有	有	無	3	有	有	無	有	有	有	有	無	有	8	0	8
富士見児童公園	2	2	4	2	無	有	有	無	3	無	有	無	無	有	無	無	無	無	2	2	4
飯田橋児童遊園	0	0	0	2	無	有	有	無	3	無	有	無	無	有	有	無	無	無	0	0	0
外濠公園	43	0	43	多	有	有	有	有	4	有	有	有	有	有	有	有	有	無	43	0	43
秋葉原公園	5	0	5	広	無	有	有	無	0	無	無	無	有	有	有	無	無	無	5	0	5
佐久間公園	8	0	8	2	無	有	有	無	3	有	有	無	有	有	有	無	有	有	8	0	8
和泉公園	19	10	29	4	有	有	有	有	3	有	有	有	有	有	有	有	有	無	19	10	29
秋葉原駅南口公園	45	0	45	広	無	無	無	無	0	無	無	無	無	有	有	無	無	無	45	0	45
沼本町真の水飲み場	0	0	0	1	無	有	無	無	0	無	無	無	無	無	無	無	無	無	0	0	0
佐久間児童遊園	29	0	29	2	無	有	有	無	0	有	無	無	無	有	有	無	無	無	29	0	29
和泉橋南西側	0	0	0	広	無	無	無	無	0	無	無	無	無	有	有	無	無	無	0	0	0
和泉橋南東公園	5	0	5	広	無	無	有	無	0	無	無	無	無	無	有	無	無	無	5	0	5
徳倉神社児童遊園	4	0	4	1	有	有	有	無	0	無	無	無	無	無	有	無	無	無	4	0	4
お玉が池児童遊園	5	0	5	2	無	無	有	無	0	無	無	無	無	有	有	無	無	有	5	0	5
大和橋広場	0	0	0	2	無	有	有	無	0	無	無	無	無	有	有	無	無	無	0	0	0
美倉橋北児童遊園	0	0	0	2	無	有	有	無	0	無	無	無	無	有	有	無	無	無	0	0	0
美倉橋東児童遊園	0	0	0	3	有	無	有	無	0	無	無	無	無	有	有	無	無	無	0	0	0
美倉橋西児童遊園	5	0	5	3	無	無	有	無	0	有	無	無	無	無	有	無	有	有	5	0	5
左門前北児童遊園	0	0	0	2	無	有	有	無	0	無	無	無	無	有	有	無	無	無	0	0	0
左門前南児童遊園	4	0	4	3	無	無	有	無	0	無	無	無	無	有	有	無	無	有	4	0	4
いずみ児童遊園	1	0	1	1	無	有	有	無	1	無	有	無	無	無	有	無	無	無	1	0	1
緑成公園	10	0	10	3	有	有	有	無	0	無	無	無	有	有	有	無	有	無	10	0	10
芳林公園	6	2	8	2	無	有	有	無	1	有	無	無	有	有	有	有	有	有	6	2	8
宮本公園	6	4	10	2	有	有	有	無	1	有	無	無	無	有	有	無	無	有	6	4	10
昌平橋西側広場	0	0	0	2	無	有	有	無	0	無	無	無	無	有	有	無	無	無	0	0	0
昌平橋東側広場	0	0	0	広	無	無	無	無	0	無	無	無	無	有	有	無	無	無	0	0	0
紅梅寺児童公園	10	0	10	2	有	有	有	無	0	有	有	無	有	有	有	無	無	有	10	0	10
沼本町二丁目児童遊園	1	0	1	1	無	有	有	無	1	無	有	無	無	有	有	無	無	有	1	0	1
地蔵橋児童遊園	3	0	3	2	有	有	有	無	0	無	無	無	無	有	有	無	無	有	3	0	3
地蔵橋西公園	14	0	14	3	有	有	有	無	0	有	無	無	無	有	有	無	無	有	14	0	14
徳倉児童遊園	1	0	1	2	無	無	有	無	0	無	無	無	無	有	有	無	無	有	1	0	1
内神田尾崎公園	10	0	10	2	無	有	有	無	0	有	無	無	有	有	有	無	無	有	10	0	10
神田児童公園	13	6	19	2	無	有	有	有	3	有	無	無	有	有	有	有	無	無	13	6	19
錢三倉児童遊園	2	0	2	2	無	無	有	無	0	無	無	無	無	有	有	無	無	有	2	0	2
神三児童遊園	3	0	3	1	無	無	無	無	0	無	無	無	無	有	有	無	無	有	3	0	3
西神田けやきの広場	1	0	1	広	有	有	有	無	0	無	無	無	無	有	有	無	無	無	1	0	1
西神田百歳の広場	3	0	3	4	有	有	有	無	0	無	無	有	無	有	有	無	無	有	3	0	3
飯田橋北児童遊園	1	0	1	2	有	有	無	有	1	無	有	無	無	有	有	無	無	有	1	0	1
飯田橋南児童遊園	5	0	5	2	無	無	有	無	0	有	無	無	無	有	有	無	無	有	5	0	5
中板児童遊園	0	0	0	1	無	有	無	無	0	無	有	無	有	有	有	無	無	無	0	0	0
沼橋児童遊園	14	0	14	3	無	有	有	有	0	無	無	無	無	有	有	無	有	有	14	0	14
三崎町児童遊園	2	0	2	2	無	無	有	無	0	無	無	無	無	有	有	無	無	無	2	0	2
五番町児童遊園	3	0	3	2	有	有	有	無	2	無	有	無	無	有	有	無	無	有	3	0	3

379 28 407 利用者数合計
93.10% 6.90% 100% 利用者合計比率

3-2. 公園利用者

本研究の公園敷地調査においては、年齢が0歳から中学生以下の利用者の公園利用者を子供、高校生以上の利用者を大人として観測した。調査を実施した公園49箇所全体の利用者数計は、大人379人、子供28人、計407人であった(表2)。大人と子供の人数の比率に着目すると、大人の公園利用者が93.1%、子供の公園利用者が6.9%となった。千代田区における公園利用者は大人が9割以上を占め、子供の公園利用者は極めて少ないことが分かった。

子供の利用者が観測された公園は、調査を実施した全公園49箇所のうち、6箇所(12.2%)であり、87.8%の公園においては、子供の公園利用者が観測されなかった(表3)。なお、大人にのみ利用されている公園は、33箇所(67.3%)であった。すなわち、千代田区における公園の7割近くは、大人のみに利用されている結果となった。

3-3. 千代田区における公園内の喫煙行動

本研究の公園敷地調査において、公園の利用者の行動の一つである喫煙行動について、喫煙所の設置の有無と利用者の園内喫煙者の有無を観測した(表1)。調査を実施した全園49箇所のうち29箇所(59.1%)で喫煙者が観測された。また、公園利用者そのものが確認されなかった10箇所を除き考えると、39箇所のうち29箇所(74.4%)で喫煙者が観測された。すなわち、千代田区の公園の7割以上は、その利用者の利用目的の一つに「喫煙」があり、喫煙所とし

ての需要が高いことが分かった。しかし、喫煙者が観測された公園29箇所のうち、灰皿・喫煙所が設置されている公園は、7箇所(24.1%)のみであり、灰皿・喫煙所の設置がないにも関わらず、喫煙者が観測された公園は22箇所(75.9%)であった。また、錦華公園、外濠公園、内神田尾嶋公園等の公園では、遊具の下や園内のベンチの下等にタバコの吸い殻が落ちている様子が確認された。錦三会児童遊園においては、公園利用者のゴミやタバコの吸い殻に関するマナー不足により、過去に閉鎖されていたことも分かった^{※2}。これらから、千代田区における公園においては灰皿または喫煙所が設置されていない公園での喫煙者が7割以上存在し、且つ分煙がなされていない園が多く存在していることが分かった。また、喫煙者の有無は、大人のみの利用が観測された公園に比べ、子供の利用が観測された公園の方が喫煙者が少ない傾向があった。

3-4. 公園と学校との距離

図1は本研究で調査を実施した公園49か所と千代田区立小学校8校の分布図である。千代田区の敷地調査の結果から、子供の利用が観測された公園6箇所のうち5か所が小学校に隣接していた。また、千代田区内で実施したヒアリング調査において、小学生児童を子にもつ母親2人と小川広場を利用していた中学生男子4人から、よく利用する、または利用して

表3 観測された利用者の年代別にみる公園数とその割合

利用者の年代	園数(箇所)	割合
子供および大人	6	12.2%
子供のみ	0	0.0%
大人のみ	33	67.3%
利用者なし	10	20.4%
合計	49	100.0%

表2 千代田区の公園の利用者調査結果

	人数	割合
大人：高校生以上の利用者	379人	93.1%
子供：0歳から中学生以下の利用者	28人	6.9%
合計	407人	100.0%



図 1 調査実施公園 49 箇所と千代田区立小学校 8 校 分布図

いた公園に東郷元帥記念公園が挙げられていたが、その園もまた千代田区立九段小学校に隣接していた。これらの結果から、子供の公園の利用と小学校の距離には関連があることが分かった。

4. 世田谷区の調査結果

4-1. 調査方法

千代田区の公園利用と比較するため、住宅地が多い世田谷区でも追加公園調査を行った。

①敷地調査

調査範囲：世田谷区の公園 5 箇所

調査期間：2014 年 10 月 21 日～11 月 4 日、午後 12 時～午後 17 時

調査内容：時間、温度、湿度、利用者数、主な利用者、利用者の行動、その他特徴等

②ヒアリング調査

敷地調査と並行し、公園の利用者や周辺住民

に実施。

③アンケート調査 8 名回答

メールでのアンケート調査（子供の性別・年齢（学年）、住んでいる場所、よく利用する公園名、公園への交通手段とかかる所要時間、その公園を利用する主な理由、その公園の良いと思う面、その公園の悪い or 改善してほしいと思う面、公園選択で重視している点、他の公園の利用者に対してどう思うか、今後どのような公園が増えてほしいか）

4-2. よく利用する公園と距離の関係

世田谷区アンケート調査において、よく利用する公園とその公園までの交通手段と所要時間を聞いた。徒歩 1 分 = 80m (4.8km/h)、自転車 1 分 = 250m (15km/h)、自動車 1 分 = 1000m (60km/h) として、自宅からよく利用する公園までの道のりを調査した (表 4、5)。

自宅からよく利用する公園までの道のりが 1250m 以内 (自転車 5 分以内) という回答が、全体の 54.5% と半数以上を占める結果となっ

千代田区における公園の活動実態調査

表4 よく利用する公園とその公園までの所要時間

回答者	よく利用する公園名	所要時間	
		手段	時間
A	羽根木公園	自転車	5分
	若林公園	自転車	5分
	三宿の森	自転車	5分
B	若林公園	自転車	5分
	とちのき公園	徒歩	15秒
C	羽根木公園	自転車	10分
	羽根木公園	自転車	10分
	山下公園	徒歩	10分
	赤松公園	徒歩	10分
	蘆花公園	自転車	20分
D	光が丘公園	自動車	40分
	駒沢公園	自転車	20分
	世田谷公園	自転車	20分
E	羽根木公園	自転車	5分
	羽根木公園	自転車	10分
	馬事公園	自転車	15分
F	石仏公園	自転車	10分
	赤松公園	自転車	5分
G	山下公園	自転車	5分
	駒沢公園	自動車	20分
H	羽根木公園	自転車	5分
	山下公園	徒歩	3分

た。また、およそ2500m以内（自転車10分以内）という回答が72.7%を占め、2500mを超えるとする回答は3割以下であった。また、自動車で40分の距離の公園を利用すると答えた回答者は、その公園が実家（祖父母の家）から近いとのことであった。

次に、よく利用する公園の利用理由を9つの要素（距離、遊具、公園設備、地域の安全性、清潔感、友人関係、自然環境、広さ、その他）に分類し、集計した（表6）。よく利用する公園に関して、その公園を利用する理由のうち、距離に関する回答は3割近くあり、最も関心の高い項目である事がわかった。その内容は、幼稚園や自宅からの距離の近さに関連していた。公園選択で重視している点に関しての回答においては、8人中5人から距離の近さについて回答が得られた。これらからの結果から、利用する公園と自宅からの距離には関係があることが分かった。

表5 よく利用する公園とその距離とその割合

公園までの距離	回答数	割合	72.7%
徒歩0分 ~ 徒歩1分 =80m 以内	1	4.50%	
~ 徒歩5分 =400m 以内	1	4.50%	
~ 徒歩10分 =800m 以内	2	9.00%	
~ 徒歩15分 =1200m 以内	0	0.00%	
~ 自転車5分 =1250m 以内	8	36.40%	
~ 自転車10分 =2500m 以内	4	18.20%	
~ 自転車15分 =3750m 以内	1	4.50%	
~ 自転車20分 =5000m 以内	3	13.60%	
~ 自動車20分 以内	1	4.50%	
~ 自動車40分 以内	1	4.50%	
			27.30%

※ 徒歩1分=80m (4.8km/h)、自転車1分=250m (15km/h)、自動車1分=1000m (60km/h) とする。

表 6 よく利用する公園の利用理由

利用理由	回答数	割合
距離	18	27%
遊具	13	19%
公園設備	7	10%
地域の安全性	6	9%
清潔感	6	9%
友人関係	5	7%
自然環境	5	7%
広さ	2	3%
その他	5	7%
合計	67	100%

5. 千代田区と世田谷区の比較

5 - 1. 地域特性と距離の関係

世田谷区のヒアリング調査において、よく利用される公園から自宅までの道のりは、およそ1250m以内という回答が全体の54.5%と半数以上を占める結果等から、利用する公園と自宅との距離は関連がみられた。しかし、千代田区での調査においては、自宅からの距離が2500m以内であっても利用されていない公園が多数あることが分かった。千代田区においては、自宅からの距離よりも、通っている小学校との距離の方が関連が強い結果となった。

5 - 2. 公園内の設備や遊具と利用者の関係

千代田区及び世田谷区の両地域において、遊具の設置の有無は、子供の公園利用と関係があった。遊具の設置がある公園では、子供の利用も多くなされていた。しかし、千代田区においては、遊具が設置されている公園14箇所のうち、9箇所では子供の公園利用者が観測されなかったことから、遊具が設置されている公園の64.3%は、その遊具が利用されていなかったことが分かった。

5 - 3. 喫煙としての利用

千代田区は、分煙を促す為に園内に隔離された喫煙所を設けている園が見られた。しかし、利用者の実態は喫煙所以外の場所でも喫煙者の姿があった。遊具の下にタバコの吸い殻が落ちている等の様子から、子供が遊んで過ごす環境が整っているとは言い難いようである。

世田谷区での敷地調査においては、公園内に灰皿・喫煙所の設置及び喫煙者の姿は少なく、自然と分煙がなされていた。

千代田区及び世田谷区におけるヒアリング調査からは、喫煙者の居る公園での子供を遊ばせる事に抵抗を感じる母親が多くいた。一方、喫煙者、非喫煙者関係なく地域の人の目があるということで安全性を感じられると評価するする母親の意見もあった。

6. まとめ

千代田区には、数としては多くの公園が設置され、その園は花壇、ベンチ、照明灯等の公園設備が充実している。しかし、その利用者の実態は、大人が大半であり、大人の公園利用者の行動は、喫煙行動が大きく目立った。特に、オフィスビルに囲まれた空地や交通量の多い道路や橋の側の小さな空地に立地する園の多くは、千代田区では路上喫煙が区内全域で禁止された事により一層、喫煙所として公園の利用需要が高まったのではないかと考えられる。公園を利用する子供は1割に満たず、その利用される公園は、小学校に隣接した園であり、遠くの多数の園には利用されない遊具が設置されている現状があった。千代田区のような都心の商業地域ではその特性を理解し、その利用目的と園内環境を精査した公園のあり方が考えることが、大人にも子供にもそれぞれに利用される公園の充足に繋がると考える。

本研究を実施する上で、共立女子大学卒業生である山崎彩花さんには多大なるご協力を賜り、ここに感謝の意を表します。

千代田区における公園の活動実態調査

※1 リフォーム産業新聞1127号(2014/07/01
発行) 5面都内「生活実感値」アンケ
ート子育て満足度

※2 平成26年8月1日「一時閉鎖の解除
のお知らせ」立て看板より「貴公園は、
地元町会所有の敷地を借用し児童遊園と
して開設していたところです。昨年、9
月1日から今日まで園内における飲食
や喫煙者等の皆様のマナー不足により、
日常的にゴミやタバコの吸い殻(ポイ捨
て)が散乱している状況を踏まえ一時閉
鎖していました。その間、地元町会の協
議を重ねてきた結果、今後は、地元と区
が協力して公園の環境維持に努めること
となり、一部公園内のリニューアルを行
いました。今後、公園利用の皆様には公
園内でのマナー厳守はもとより、良好な

環境を保つため適切な公園利用にご理解
ご協力をよろしくお願いいたします。」

参考文献

- 1) 「都市部の保育施設における園外活動に
関する研究：東京都千代田区を対象とし
た調査より」(2014年度日本建築学会大
会(近畿) 学術講演会・建築デザイン発
表会) 松橋圭子, 田中稲子, 三輪律江,
藤本麻紀子
- 2) 財団法人 都市緑化技術開発機構：「身近
な公園の 公園チェックシート101 活用
マニュアル」
- 3) 千代田区 HP：<http://www.city.chiyoda.lg.jp> 4
- 4) 世田谷区 HP：<http://www.city.setagaya.lg.jp>